



横須賀市自然・人文博物館 メールマガジン 2017年2月23日号



◆学芸員自然と歴史のたより◆

「スズメバチたちの暮らしと冬ごし」

夏から秋にかけて巣が大きくなり、ときには近づいたヒトを襲うこともあるスズメバチたち。庭木の枝や家の軒下など目につきやすいところにつくるキイロスズメバチやコガタスズメバチが有名ですが、三浦半島ではその他にオオスズメバチ、ヒメスズメバチ、モンズメバチ、チャイロスズメバチ、クロスズメバチを加えた7種が知られています。

スズメバチたちの暮らしは一年サイクルです。春、女王バチはたった1匹で巣づくりを始めます。大あごで削り取ってきた樹皮を唾液と混ぜて部屋の壁をつくり、部屋をひとつ作っては卵を産み、また部屋をひとつ...と、徐々に部屋を増やしながら産卵するうちに、先に産んだ卵から幼虫が生まれます。幼虫には巣の外で捕らえた虫をかみ砕いた肉団子を与えます。巣をつくり始めて約ひと月後、はじめに生まれた幼虫がさなぎを経て働きバチになると、女王は巣材はこびや狩りなど巣づくりのほとんどを働きバチに任せ、産卵に専念します。冒頭に述べたように、夏から秋にかけての時期は、次々に羽化する働きバチによって巣がどんどん大きくなります。働きバチは3週間ほどで死んでしましますが、すぐに新しい働きバチによって補われます。

秋、涼しくなるとスズメバチたちが餌にする虫が減ります。これ以上巣が維持できなくなるのを察するかのように、働きバチはいつもよりひと回り大きな部屋をつくります。それらの部屋は新しい女王バチと雄バチのためのもので、雄バチは羽化するとすぐに巣を飛び出して他の巣の新女王バチを探します。キイロスズメバチやオオスズメバチなどの大きな巣からは数百匹もの新女王バチと雄バチが生まれることがあります。

交尾を終えた雄バチはすぐに死にます。新女王バチは体内に雄の精子を貯めたまま、巣を離れて冬ごしの場所を探します。三浦半島でも冬に山林で越冬するスズメバチ類を見つけることができます。博物館の調査では、朽ち木の中からコガタスズメバチやキイロスズメバチを、崖斜面の地中からヒメスズメバチを確認しています。直接確認できていませんが、オオ

スズメバチやクロスズメバチも山林の地中で冬を越します。なお、チャイロスズメバチは三浦半島に分布を広げて間もないため、冬を三浦半島で過ごせるのかどうか、まだ分かっていません。

一つの巣から何十、ときには何百もの新女王バチが生まれるのですが、それらが無事にオスと出会い、長く厳しい冬を乗り越え、たった1匹での巣づくりを成功させ、秋に次の世代に命をつなぐまで、実に多くの困難が待ちうけています。私はフィールドで大きく育った巣に出くわすと、身の危険こそ感じつつも、ほんの一握りの成功者がようやく築くことができた「城」に、スズメバチたちの過酷な生存競争を重ね合わせてしまいます。

博物館では2010年から横須賀市内でトラップを用いたスズメバチ類の捕獲調査を、横須賀市保健所との共同研究によって行っています。おもに冬ごしから目覚めた女王バチの活動をトラップで捕獲した時期と個体数によって把握しています。この調査の目標の一つは、春先のスズメバチ類の捕獲数からその年の夏～秋の発生規模を予測することです。「今年は多くなりそうだからご注意を！」... そんなスズメバチ予報をみなさまにお届けできたらと思います。(昆虫・陸上無脊椎動物担当 内船)

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/23886>

◆展示情報◆

企画展示「横須賀製鉄所の同窓生」

2017年3月11日(土)～2017年6月4日(日)

横須賀製鉄所には、国内最高水準の学校「覺舎(こうしゃ)」が設置され、その「演習図面」や出身者の一部、卒業生提案の「フランス料理フルコース案」を紹介します。横須賀製鉄所の同窓生たちは、浦賀ドック(浦賀船渠)の設立にも貢献しました。昨年末に寄贈を受けた「浦賀ドック貴重写真」も速報展として初めて当館で展示します。

【内容】

1. 優秀な付属学校「覺舎(こうしゃ)」

演習図面を一堂に展示(これまでは一部のみを展示)。

2. 横須賀製鉄所ゆかりのフランス料理

覺舎出身の東京帝国大学教授が提案したフランス料理のフルコース案を紹介。料理を忠実に再現したレプリカも展示。

3. 「浦賀ドック貴重写真」速報展！

横須賀製鉄所の人と技術が活かされた「浦賀ドック」（浦賀船渠）」の建設と創業期を記録した貴重写真を展示。写真は平成 28 年末に寄贈を受け、初めて当館で展示します。

フランス料理フルコースのレプリカ

【展示解説】

横須賀製鉄所の人材や技術、その後の影響について解説します。

3月11日（土）、4月2日（日）、5月4日（木・祝）

14:00～15:00（参加自由）

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/22851>

トピックス展示「新着標本 2017」

2017年3月12日（日）まで

博物館では常に資料の収集を行い、それらを学術的・教育的に活用できるように整理・保存しています。今回の展示では、それらの資料のうち新しく収集したものや、新たに分類と整理を行ったものなど、自然科学系の未公開資料を厳選して紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/23694>

トピックス展示「これなあに？」

2017年4月16日（日）まで

今では見かけなくなった道具をクイズ形式で展示します。小中学生向けですが、大人でも分からない道具があるかもしれません。昔の人たちの知恵や工夫に触れてみてください。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/23699>

トピックス展示「桜～横須賀市の木とキになる害虫～」

2017年3月18日（土）～2017年4月16日（日）

春を代表する花として昔から親しまれてきた桜—横須賀市の木であるオオシマザクラをはじめ横須賀市内で見られる代表的な桜たちについて紹介します。ここ数年で関東地方でも桜の被害例が報告されるようになった外来昆虫クビアカツヤカミキリについても紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/23910>

◆イベント情報◆

自然館ミュージアムトーク（3月）

2017年3月11日（土）

申込不要。博物館の学芸員が自然館の展示を解説します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/22545>

天神島ガイドツアー（3月）

2017年3月26日（日）

申込不要。天神島臨海自然教育園内の動植物や景観などの見どころを紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/22600>

発行：横須賀市自然・人文博物館

本メールは送信専用アドレスから配信されています。
このまま返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。
このメールの無断転載を禁止します。
登録内容の編集・解除は下記より行ってください。
<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/mailmagazine/entry>